

科目	論理国語	学年	第2学年	開講	通年	必修	2単位
----	------	----	------	----	----	----	-----

教科書:精選 論理国語(明治書院)

副教材:精選論理国語学習課題ノート(明治書院)、キーワード漢字2700(浜島書店)、名作を味わう 定番小説選(数研出版)

新訂総合国語便覧(第一学習社)、3ステップオリジナル問題集 錬成現代文<大学入学共通テスト対策新装版>

1 学習の到達目標

- 1 文章の的確な読解を通して、客観的に理解・認識する力、主体的に思考・判断する力を養う。
- 2 文学作品を通して、日本語の美しさや表現の豊かさを味わい、その読解によって、自分自身や他の世界に対する感受性や想像力を育む。
- 3 現代社会において求められる多様な言語能力を養うため、自身の考えを効果的に伝える表現力・コミュニケーション力を高める。
- 4 生涯にわたり読書に親しむ習慣を身につける。

2 学習計画及び評価方法

- a 知識技能
- b 思考・判断・表現
- c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考查	評価の観点			
							a	b	c	
前期	世界・地域	二一〇〇年の世界地図	・これから起こる世界の変化や問題について、下の思考ツール(図)を使って整理する。本文から「人口」「所得」の観点で読み取れることや、各自で設定した観点について、図書館で調べる。	・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 ・実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理する。	4	中間	○			
							○	○	○	
	社会行動	行動変容を起こす有効な方法	・自分の生活あるいは社会における不合理な行動事例の一つあげ、本文の内容や表を踏まえて事例を分析し、有効な対策について話し合う。	・本文と資料を踏まえて考えをまとめ話し合う。 ・思考の構築に資する読書の意義を理解する。 ・自分の考えを話す活動を通して、積極的に文章構造を把握し、自らの学習を調整しようとしている。	5	中間	○			
							○	○	○	
日本文化	「家族の幸せ」の経済学	・「ノルウェーの経験から、私たち日本人は何を学ぶことができるでしょうか。」とあるように、日本のお父さんの育児取得率を上げるために必要なことを考察する。	・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 ・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉える。	6	中間	○				
						○	○	○		
		「間」の感覚	現代の日本でも『「間合い」を正しく見定めることが、日本人の行動様式の大きな原理である』という主張は当てはまるか考察する。	仮説を立てたうえで、読み手を説得できるように工夫して、意見文を書く。 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、構成や展開について理解を深める。	7	期末	○	○		
前期 授業評価										
後期	哲学・認知環境・科学	猫は後悔するか	筆者の主張と関連する根拠・例示を見つけ、そのふさわしさを検討する。	・筆者の主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。	10	中間	○	○	○	
							○	○	○	
	技術・規範	AIと憲法的価値	AIと憲法的価値がぶつかる事態を避けるためには「人間の判断」が必要であるという筆者の意見を理解し、今後どのような課題が存在するか考察する。	・「AIと憲法的価値」について考え、的確に伝わるようにまとめる。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。	12	中間	○	○	○	
							○	○	○	
	小説	山月記	・人物設定、状況設定ともに本格的な虚構作品であり、さまざまな角度から人間のあり方について考えさせる。 ・日本語の言葉の世界の豊かさを感じ、物語としての面白さを感じてもらう。	・語句の意味を正しく理解する。 ・主人公の苦悩を手がかりに人間のあり方について思考を深める。 ・人間が虎になるという虚構の意図や効果を考える。	1	期末	○	○	○	
○							○	○		
経済・資本	熱帯の贈与論	資本主義社会を生きる人々の行動やその社会が抱えるさまざまな問題に目を向けながら、自分の考えをまとめる。	・資本主義について、異なる価値観を理解する。 ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。	2	3	○	○	○		
						○	○	○		
後期 授業評価										

3 評価の観点

- 【知識・技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
 【思考・判断・表現】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。
 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。
 <評価算出方法>
 【知識・技能】【思考・判断・表現】素点÷配点×100
 【主体的に学習に取り組む態度】平常点100点